

整備状況【地盤改良工事】



堤防完成イメージ図



渥美海岸 津波対策海岸特別緊急事業についてのお問い合わせは下記まで



■お問い合わせ先

東三河建設事務所 河川港湾整備課 事業第一グループ

- 住所 〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町6番地
- 電話番号 0532-52-1386 (代表)
- E-mail: higashimikawa-kensetsu@pref.aichi.lg.jp

発行日:令和4年7月



渥美海岸 津波対策海岸特別緊急事業

津波に関する危機管理対策として海岸堤防を整備し、津波発生時における人命の優先的な防護を推進します。



渥美海岸の現状と課題

田原市は、東海地震の地震防災強化地域、南海トラフ地震の防災対策推進地域及び津波避難対策特別強化地域に指定されています。

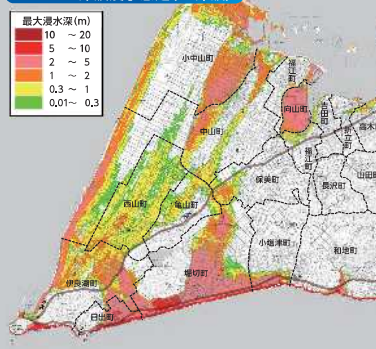
特に遠州灘に面する伊良湖・堀切地区は、津波防護機能を有する海岸保全施設が無いため、田原市内で最も津波による甚大な被害が危惧されている地域です。

■津波浸水想定(L2津波)とは

津波浸水想定(L2津波)は、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす、「最大クラスの津波」が沿岸に到達した場合の、浸水の区域(浸水域)及び水深(浸水深)を設定したものであり、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

H26.11 津波浸水想定(L2津波)

| 最大浸水深(m) |
|------------|
| 10 ~ 20 |
| 5 ~ 10 |
| 2 ~ 5 |
| 1 ~ 2 |
| 0.3 ~ 1 |
| 0.01 ~ 0.3 |



① 液状化対策

レベル2地震動により液状化が発生する可能性が高いため、堤防の沈下対策として地盤改良(サンドコンパクションパイル)を実施します。

② 粘り強い構造

L2津波(基準水位18m)の到達時間が約20分と短いため、逃げ遅れないように避難時間を確保する必要があります。そのため、新しく整備する堤防は、コンクリートによる被覆と緑の防潮堤を併せて堤防を壊れにくくする「粘り強い構造」とします。

③ 自然環境への配慮

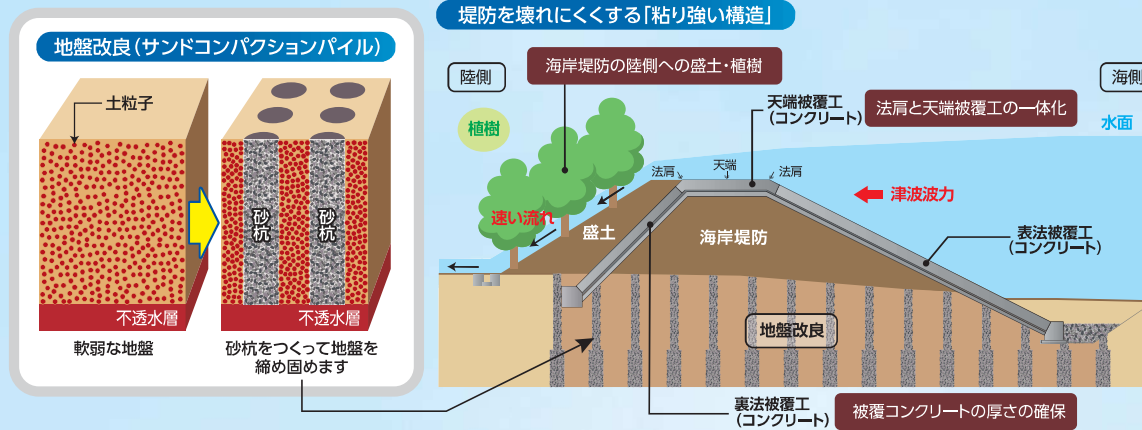
アカウミガメの移動や産卵に配慮し、支障となる消波ブロックを移設します。

④ 塩害防備の保安林

堤防整備により現存する保安林が一部消失するため、新たに堤防背後に盛土し、「緑の防潮堤」として植樹します。

⑤ 自転車道(ナショナルサイクルロード)

現況の自転車道を堤防整備後に堤防天端に移設します。



堤防完成イメージ図

